

⚠ 注意

取り付け・配線は専門技術者に依頼する



本機の実取り付け、配線には専門技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店にご依頼ください。

配線作業中はバッテリーの端子を必ずはずす



説明に従って正しく配線しないと、ショートによる感電やけが、および発火や故障の原因になります。

運転や乗り降りを妨げたり、破損しないようにコードを引き回す

運転や乗り降りを妨げられると、事故やけがの原因になります。コードが傷んだまま使用すると、ショートや断線により、発火や故障の原因になります。



- 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、束ねる、加工する、熱器具へ近づける、重いものをのせるなどしない。
- 車体やねじ、およびシートレールの可動部にはさみ込まないよう整形し、固定する。
- ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足等に巻き付かないよう、引き回す。

電池は正しく扱う

電池を正しく扱わないと、破裂や液もれにより、発熱・発火、けがや故障、周囲を汚染する原因になります。



- 電池は極性表示（+と-）を確かめて、指示どおり正しく入れる。
- 指定外の電池を使ったり、新・旧電池や違う種類の電池を一緒に使用しない。
- 使いきった電池は、すぐに交換する。
- リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り出しておく。
- 電池を廃棄や保存するときは、テープを巻きつけたり、ビニール袋などに入れて絶縁する。
- 充電・ショート・分解・変形・加熱・火や水の中に入れる・金属物と接触させるなどしない。
- 窓を閉め切った車の中、車のトランクの中、直射日光のあたるところ、ヒーターの近くなど、著しく温度が高くなるところに電池や電池の入ったリモコンを放置しない。
- 乳幼児の届くところに置かない。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師にご相談ください。

電池の液もれが発生した場合の処置について

- 電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。
- もれた液が身体や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。
- 万一、目に入ったときは、こすらずにすぐ水で洗い流し、医師にご相談ください。

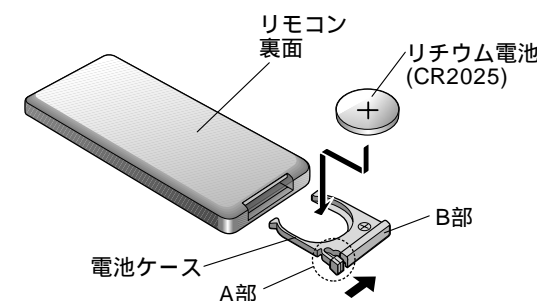
付属品を確認する

1. 取扱説明書	1
2. 取り付け用付属品	一式 (P.50 参照)
3. 電源コネクタ	1
4. リモコン	1
5. リチウム電池 (CR2025)	1
6. 保証書	1
7. お客様ご相談窓口一覧表	1

リモコンを準備する

電池の入れかた

- 電池ケースを出す。
A部を矢印の方向に押しながら、B部を持って引っ張り出してください。
- リチウム電池(CR2025)を入れる。
(+) (-) を間違えないように右図どおりに入れてください。
- 電池ケースを入れる。
最後まできちんと入れてください。



使用する電池

- 使用電池 : パナソニック リチウム電池 (CR2025)
- 電池の寿命 : 通常の使用状態で約 6 ヶ月 (常温時)

システムアップ時の操作について (P.32, 37, 48 ~ 49 参照)

デジタルサラウンドプロセッサ (CY-AC300D : 別売) を接続した場合

準備

- ① DVD IN 設定を “ON” にする (P.32 参照)
“THRU 表示” が点灯します。
- ② CY-AC300D へのアナログ入力レベルを調整する
CY-AC300D の “OVER インジケータ” が点灯しないように、本機で音量を調整します。

お願い

- CY-AC300D をご使用にならない場合は
- CY-AC300D を取りはずし、必ずシステムを組みなおしてください。
 - DVD IN 設定は、“OFF” にしてください。

お知らせ

アナログ入力レベルが正しく調整されていないと、音が小さすぎたり、歪んだりすることがあります。

- アナログ入力レベルを調整が終わったら、以降のシステム全体の音量は CY-AC300D で調整します。
- サウンド・音場は CY-AC300D で設定するため、本機で設定したサウンド・音場設定は無効になります。
- CY-AC300D への入力ソースは、本機で切り替えます。

詳細は、CY-AC300D の取扱説明書をご参照ください。